

2012年度 第3回 地区別ミーティングの報告

昨年度の3回目の地区別ボランティアコーディネーターミーティング（以下VCM）が、1月下旬から2月中旬にかけて各小学校で行われました。中学校からも7校の参加がありました。

3学期ということで、年間のまとめや今年度の課題、来年度の方向性等について話し合われました。それらの中から、参考になりそうなことをまとめてみました。

【情報源としての地区別VCMの機能】

これまで以上にVC同士の紹介による人材の共有、そのための授業の参観が増えています。「そろばん」「豆腐作り」「盲導犬」「縄跳び」など、学校支援センターに届いた情報を他地区に紹介することもありました。

さらに、この動きを加速させるために、MGNシステムの活用を図り、事前に授業の予告をしておくことで参観できて自校の参考になると思います。

【次年度への引継ぎ】

管理職が異動する際、これまで実績が顕著だった取り組みは継続していただけるよう、管理職同士で引き継いでほしいという要望がありました。管理職同士もそうですが、学年間でも新旧の担任が引き継いでおいてくださると助かるなと思いました。

【スクールボード校としての課題】

全校がスクールボード校になりましたが、地域支援理事として何をやればよいのかわからないという意見が出されました。学校支援センターは直接の担当部署ではありませんが、「学校作りは地域づくりにつながる」という面では、関係が深まってくると思います。

少なくとも、私たちが行っている近隣学校同士の情報交換会をやったらどうかなどと思いました。

【家庭科ボランティアの増大】

一段と家庭科ボランティアの要望が目立ってきました。調理やミシン指導補助はもちろんのこと、学芸会での衣装作りなどの要望も出ています。

これをチャンスと考えて、保護者や地域の方にボランティアとして入ってもらい、その人の中から他のボランティアをお願いして輪を広げていけるのではないかと考えます。

【急な依頼の対応苦慮】

特に3学期、1週間後にお願ひできないかといったボランティア人材の要望が寄せられ、VCが苦慮するケースがあります。できないことはできないと明言することや、年度当初に概略だけでもボランティアの必要な計画を提出しておいてもらうなど、対応策を考えてみましょう。

この他にも、様々な話し合いがなされました。これらを全体の財産にすると同時に、これからもいろいろな規模での情報交換会を開催したり、自主的に行ったりしていただきたいと思います。私たちの活動にとって、情報はかけがえのない財産です。

本町田東小学校 1年生 ディズニーリゾート「魔法の教室」出前授業 3/6 3校時



【まちがいさがし】



【指導スタッフ】

本町田東小学校に、ディズニーリゾートの方が来ていただきました。相手の立場に立って言動を考えるということが中心テーマで、そのために、5つのゲームを通して理解させようという授業でした。

この授業だけでねらいを達成できません。常日頃の授業で、「ディズニーリゾートの人もそう言っていたね」と、指導のときにもどる内容としてあるのだと理解しました。息の長い指導の積み重ねが必要だと思います。児童の意欲的な参加が印象的な授業でした。

山崎小学校 生活科 2年生 「お箸のマナー」 3/8 3・4校時



【まちがったお箸の使い方】



【お箸が上手に使えるようになる方法】

山崎小学校で、お箸の使い方を青少年健全育成委員会の方に指導していただきました。以前から必要だと感じていた指導で、参観させてもらいました。事前に、指導内容を相当に練ったそうです。

本来はご家庭でやってほしい内容ですが、学校（サマースクール等含む）でも健全育成でも、生涯教育でも学童保育クラブでもまちともでも、どこでもよいと思います。たくさんの児童に指導できればと思います。

お箸のできること（はさむなど7種類以上）、お箸でやってはいけないこと（ねぶり箸など9種類）を図と動作で指導していただきました。実際には教室で担任と練習するということでした。家に帰ってからも、お箸の使い方でお話が盛り上がったことでしょう。



【礼法で伝統的な考え方を理解】

平成24年度から新しい中学校学習指導要領が実施され、これまで選択領域だった「武道（柔道・剣道・相撲など）」が必修となりました。町田二中では、外部指導補助者の協力を得ながら、柔道の授業を実施。参観・取材した柔道の授業は、2年生の女子が対象ということで、女性の体育担当教諭と大学4年の女子学生（本センターが紹介した外部指導補助者）とで行われました。柔道経験のある外部指導補助者が手本を見せたり、言葉かけをしたりすることで、生徒が学びやすい授業になっていました。今後、武道の指導補助ができる人材へのニーズは高まりそうですが、そうした人材の発掘に向けて、本センターが少しでも役立てればと考えます。



【安全に身を処すための受け身】



【太陽の光は物を動かすよ】

昨年度の小鳥の巣箱作りに引き続き、今年度は「ソーラーカモメ」を作り、太陽のエネルギーを体感しました。ゲストティーチャーも昨年度に引き続き同じ方と、新しくそのお仲間3名のあわせて4名でした。太陽光をうまく使うと、エネルギーが手に入ることを、ソーラーカー、扇風機などを使って体験できました。当日は天気もよく、出来上がったカモメも優雅に羽ばたいていました。



【ボランティアさん 案外 難しいね】

なお、教室の外に取り付けた小鳥の巣箱は、シジュウカラが巣を作り、雛が巣立ったそうです。

《報告事項》

1. 教員・ボランティアコーディネーターは名刺持参のおすすめ

校外学習や事務打ち合わせで、教員やVCが外部の方と会う機会があります。そんなとき、名刺を作成しておいてお渡しすると、その後の連絡に大いに役に立ちます。私たち学校支援センターも、お会いした団体名などは記憶していますが、質問等で再度相談したいときどなたに連絡したらよいのか困ることがあります。そんな時、名刺があると役に立ちます。

最近の名刺用紙が市販されているようです。それに印刷して持っている、役に立つと思います。残念ながら私費になりますが、検討してみたらいかがでしょうか。

2. 縄跳び指導・実技が可能な団体紹介

七国山小学校VCより、縄跳び指導のゲストティーチャーが大絶賛でしたという、うれしさいっぱいの連絡をいただきました。このゲストティーチャーは、つくし野小が2年越しで探したもので、地区別ミーティングの際に、本センターが七国山小学校に紹介したものです。

期日が迫っているなか、雨ならばできない等の壁がありましたが、無理とも思える要望に応じてくださった国士舘大学多摩キャンパスにある新体操部の皆さんには感謝でいっぱいです。今後も、日程さえ合えば指導してくださるとのことです。

《事務連絡》

1. 文科省・東京都の学校支援ボランティア事業報告の調査へのお礼

今年度の文科省・東京都の学校支援ボランティアの集計が終了しました。概略は近々お知らせできるかと思えます。今回は、私たちも皆さんも慣れてきたせいもあり、思いのほか短期間で各学校への問い合わせも終了しました。学校によって集計の主体となってくださった方は違いますが、修正した点を記憶や記録にとどめ、次年度の調査の参考にしていただければと思います。調査にご協力いただきましてありがとうございます。

2. 2013年度学校支援ボランティアコーディネーター説明会の開催について

2013年度の学校支援ボランティアコーディネーター説明会を次のように行う予定です。つきましては、次年度のボランティアコーディネーターには、出席していただくこととなりますので、今から予定に入れておいていただければと思います。説明会についての案内文書は、後日、2013年度学校支援ボランティアコーディネーターのご自宅あてに郵送いたしますのでよろしくお願いいたします。

① 日時：2013年4月17日（水）10：00～12：00

② 会場：町田市教育センター 4階大会議室

③ 出席対象者：町田市小中学校のボランティアコーディネーター全員

～みんなで支える学校・みんなで育てる子ども～町田市学校支援センター
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22、10F 町田市教育委員会内
TEL:042-722-3111(内線 5114) FAX:050-3161-8122
URL: <http://www.city-machida-gakkoshien.org/>